

<b>14105 地球ウォーキング演習 I d</b> Global Touring Seminar I 14108 地球ウォーキング演習 II d		I : 3年、II : 4年 通年 4単位			
担当者	瀧野 修	履修可能学科	C選必		
		関連資格	教職(C)		
サブタイトル	西洋絵画との出会い				
授業内容 ・ ねらい	ヨーロッパ近代の始まりはいつなのかということに関しては諸説ありますが、芸術の領域においては19世紀末にその節目があるというのがほぼ通説となっています。本授業においては、19世紀末から20世紀初頭への移行期、つまり「世紀転換期」に活躍した芸術家、とりわけ画家たちが残した絵画を取り上げ、その作品の中から「今」につながる「近代」の意味を探るとともに、人間の《表現行為》のあり方について学びます。 そもそも絵画は言葉に抛らない自己表現の一つの形ですが、それを受け止める鑑賞者は、しっかりと自分の目で視、そしてその結果、自分の心の中に湧き起こる想いを言葉で表現することが大切です。そうでなければ、単に「見えている」だけに終わってしまい、作品は目の前を通り過ぎていってしまいます。 この授業では、芸術作品を巡る《表現と鑑賞》の楽しさと難しさも学びたいと思います。				
授業計画	<table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <b>【前期】</b>                      第1回 19世紀末から20世紀にかけての《ヨーロッパ絵画》に関する講義(1)                      第2回 19世紀末から20世紀にかけての《ヨーロッパ絵画》に関する講義(2)                      第3回 考察対象としての画家およびその作品の紹介。                      第4回～第14回 受講生による意見発表。学生は、自ら選んだ作家・作品について事前に「鑑賞レポート」を作成し、その資料に基づき、プレゼンテーションを行ないます。発表に際しては画集やスライドを用い、他の人にもわかりやすい発表の工夫をする必要があります。この発表・報告は、全受講生が順番で行ないます。発表者は、芸術作品を通して自分が考えたこと、感じたことを自分の言葉によって表現すること、そして他の参加者も、積極的に自分の意見を言うことにより、発表者として作品と対話することが求められます。                      第15回 前期授業の総まとめ                 </td> <td style="vertical-align: top;"> <b>【後期】</b>                      第16回～第29回 前期同様、受講生によるプレゼンテーションとディスカッション。                      第30回 年間授業の総まとめ                 </td> </tr> </table>			<b>【前期】</b> 第1回 19世紀末から20世紀にかけての《ヨーロッパ絵画》に関する講義(1) 第2回 19世紀末から20世紀にかけての《ヨーロッパ絵画》に関する講義(2) 第3回 考察対象としての画家およびその作品の紹介。 第4回～第14回 受講生による意見発表。学生は、自ら選んだ作家・作品について事前に「鑑賞レポート」を作成し、その資料に基づき、プレゼンテーションを行ないます。発表に際しては画集やスライドを用い、他の人にもわかりやすい発表の工夫をする必要があります。この発表・報告は、全受講生が順番で行ないます。発表者は、芸術作品を通して自分が考えたこと、感じたことを自分の言葉によって表現すること、そして他の参加者も、積極的に自分の意見を言うことにより、発表者として作品と対話することが求められます。 第15回 前期授業の総まとめ	<b>【後期】</b> 第16回～第29回 前期同様、受講生によるプレゼンテーションとディスカッション。 第30回 年間授業の総まとめ
<b>【前期】</b> 第1回 19世紀末から20世紀にかけての《ヨーロッパ絵画》に関する講義(1) 第2回 19世紀末から20世紀にかけての《ヨーロッパ絵画》に関する講義(2) 第3回 考察対象としての画家およびその作品の紹介。 第4回～第14回 受講生による意見発表。学生は、自ら選んだ作家・作品について事前に「鑑賞レポート」を作成し、その資料に基づき、プレゼンテーションを行ないます。発表に際しては画集やスライドを用い、他の人にもわかりやすい発表の工夫をする必要があります。この発表・報告は、全受講生が順番で行ないます。発表者は、芸術作品を通して自分が考えたこと、感じたことを自分の言葉によって表現すること、そして他の参加者も、積極的に自分の意見を言うことにより、発表者として作品と対話することが求められます。 第15回 前期授業の総まとめ	<b>【後期】</b> 第16回～第29回 前期同様、受講生によるプレゼンテーションとディスカッション。 第30回 年間授業の総まとめ				
教科書 参考書	教科書は使用しません。参考文献などは、随時、授業の中で紹介します。				
評価方法	授業参加の積極性、プレゼンテーションと年度末のレポート内容などを総合的に判断して評価します。				
事前準備学習 履修条件等					